

科目名	看護のための物理学	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	科学的根拠に基づいた安全・安楽な看護技術の提供に不可欠である物理学の基礎と看護実践との関連を学ぶ。		
目標	1 一般的な法則が個々の事象にどのように使われているか理解する 2 看護援助技術における原理・原則など物理学的内容を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 □ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	新体系看護学 基礎科目 物理学 メヂカルフレンド社		
参考文献	平田雅子『ベッドサイドを科学する』学研		
評価	筆記試験		
授業計画			
回数	項目	内容	方法
1	質点の力学 体位変換の原理を学ぶ	1. 速度と加速度 2. ニュートンの運動の法則	講義
2~3	剛体の力学 倒れない条件、倒れにくい条件	1. 力学的エネルギーの保存則 2. トルクとは 3. 剛体の釣り合い 4. 重心とその具体的解釈	
4~5	流体 水中リハビリテーションで感じる 体重は？	1. 重心と安定性 2. アルキメデスの原理 3. ベルヌーイの原理	
6~7	圧力 圧力と看護の深い関係	1. 気圧 2. 血圧 3. 酸素ポンプ 4. サイフォンの原理	
8	看護に必要な電気学 電気の基本を学ぶ	1. 電気に関する基本的知識 2. 感電に関する基本的知識	
9~11	熱現象 看護に役立つ水の特異性	1. 熱膨張 2. 比熱と潜熱 3. 熱と仕事 4. 熱の移動と保温	
12	音に関する現象 音と医療の意外な関係	1. 音波の基本的知識 2. 音の強さと大きさ 3. ドップラー効果 4. 医療に必要な超音波	
13	光に関する現象 様々な医療現場で役立つ光	1. 光の性質 2. レンズと眼鏡	
14	放射線防護と応用 毒にも薬にもなる放射線	1. X線 2. 放射線防護 3. 放射線元素の崩壊と半減期	
15	終了試験		

科目名	生物と生命	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	人間を中心とした生命現象と各種器官の機能・進化・環境とのかわりに関する基礎を学び、「生命」の尊さについて学ぶ。		
目標	1 生命を維持するための体のしくみを理解する 2 生物と環境の関りを理解する 3 生命の尊厳を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 □ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 □ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 基礎分野 生物学 医学書院 資料(印刷資料)		
参考文献	看護初年度コレダケ -生物、数学、物理、化学、言葉-第1版 メディックスメディア		
評価	・小テスト 30%(各3回) ・筆記試験 70%(定期試験) ・再試験は小テストの成績は加味せず ・再々試験は実施せず		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1~2	・生命体のつくりとはたらき ・生命維持のエネルギー	細胞の構造 細胞を構成する物質 浸透圧 生体内の化学反応	講義 (プレゼンを使用しスライドを交えながら)
3~4	・細胞の増殖とからだのなりたち ・遺伝情報とその伝達・発現のしくみ	細胞分裂 細胞の分化と個体のなりたち 染色体 遺伝の法則、遺伝情報	4回目:小テスト
5~6	・生殖と発生 ・個体の調節	受精と発生 哺乳類の発生 ホメオスタシス 各器官系のはたらき ・呼吸系 ・消化系 ・循環系 ・免疫系 ・排出系 神経のはたらき ホルモンのはたらき	8回目:小テスト
7~8	・刺激の受容と行動	神経系における情報処理 環境の情報と受容 細胞運動のしくみ 行動	12回目:小テスト
9~11	・個体の老化	個体の老化と老年症候群	資料(印刷教材)を用いての講義
12~14	・加齢に伴う諸臓器の変化	・循環器と腎臓の加齢変化 ・呼吸器と消化器の加齢変化 ・造血器と免疫系、内分泌と生殖器、骨、関節、脳の加齢変化	資料(印刷教材)を用いての講義
15	終了試験		15回目:定期試験

科目名	論理的思考	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	論理的思考に基づく客観的なものの見方・表現力・伝達力を学び、問題発見能力、問題解決能力の基礎を学ぶ		
目標	1.話しことばと書きことばの相違を理解し、理解力・表現力の向上を目指す		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1.豊かな人間力 ☑ 2.看護を実践する力 ☑ 3.探求する力 □ 4.連携・協働する力		
使用テキスト	すべて配付プリントにより行う		
参考文献	松村明『国語表現法』(あうふう)		
評価	学習態度及び課題・試験を総合的に評価する		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1	論理的思考 1	・論理的思考とは何か、創造的思考と比較しながら考える。	配付プリント (以下同)
2	論理的思考 2	文の構成・題目、文のつながりを基に、論理的思考を考える。	
3	ことばの機能	・ことばの機能とは何かを考える。	
4	ことばの獲得 1	・話しことばの獲得の歴史を考える。	
5	ことばの獲得 2	・書きことばの獲得の歴史を考える。	
6	言文一致運動 1	・黎明期の言文一致運動を考える。 ・井上ひさし『国語元年』を読む。	
7	言文一致運動 2	・初期の言文一致運動を考える。	
8	言文一致運動 3	・発展期の言文一致運動を考える。	
9	言文一致運動 4	・確立・完成期の言文一致運動を考える。	
10	話しことばと書きことばの相違 1	・小中学校のテキストの記述により、話しことばと書きことばの相違を考える。	
11	話しことばと書きことばの相違 2	・日常生活の実例により、話しことばと書きことばの相違を考える。	
12	共通語と方言	・夏目漱石『坊っちゃん』とその方言訳を基に、話しことばと書きことばの相違を考える。	
13	方言の発生と分布	・方言と暮らしとの関係を考える。	
14	学校教育における「話すこと・聞くこと」指導	・論文「話すこと・聞くこと」指導への一提言を読む。	
15	学校教育における「書くこと」「読むこと」指導	・論文「書くこと」指導への一提言を読む。 ・講義全体のまとめを行う。	

科目名	情報科学	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(15時間) 8回
科目の概要	情報処理やコンピュータのハード、ソフト、ネットワークの基本的概念と技術を学ぶ		
目標	1 情報と情報処理の基礎概念、コンピュータの基礎としてのハード・ソフトの概念を理解する 2 パソコンの基本操作、アプリケーションソフトの活用を修得する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	授業中に毎回プリントを配布する		
参考文献			
評価	平素の授業状況の取り組みと演習課題の提出状況を総合的に判断して行う		
授 業 計 画			
回数	項目	内 容	方 法
1	情報科学とは	インターネット、コンピュータ、情報端末の使用方法について学習し、情報化社会における諸課題、情報セキュリティについて学習する。	教室による講義
2	コンピュータによる文書作成方法	コンピュータを用いた文書の作成方法について学習する。	コンピュータ演習
3~6	表計算ソフトの利用方法	表計算ソフトを用い、表とグラフの作成方法および表計算機能(関数の使い方)について学習する。	コンピュータ演習
7~8	プレゼンテーションツールの使い方	プレゼンテーションツール(Powerpoint)の使い方について学習する	コンピュータ演習

科目名	看護情報学	時期	2年次 前期
担当者	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員・看護師	単位(時間) 回数	1単位(15時間) 8回
科目の概要	医療現場におけるコンピュータシステムを理解し、看護の質の向上のために研究活動や情報分析を学ぶ。		
目標	1 病院における情報システムを理解する 2 看護研究におけるコンピュータ活用方法を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を实践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 別巻 看護研究, 医学書院 系統看護学講座 別巻 看護情報学, 医学書院		
参考文献			
評価	筆記試験 課題レポート		
授業計画			
回数	項目	内容	方法
1~4	看護研究と情報システム	1 文献とは、文献検索の方法 2 文献検索の実際 3 統計の基礎 4 プレゼンテーション技法	講義及び演習
5	病院情報システム	1 医療における情報システムと電子カルテ 2 安全管理と情報、データセキュリティ 3 地域包括医療システムと情報システム	
6	看護記録と情報システム	1 看護におけるデータ、情報、知識と情報システム 2 看護における診断・介入・成果とその記録方法 3 看護の場面におけるコンピュータの利用、システム化	
7	看護と情報に関する倫理	1 医療倫理の原則と倫理的な問題 2 個人情報および医療従事者の法的守秘義務、看護記録と倫理	
8	終了試験		

科目名	人間生成論	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	人が学習し、成長・発達していくための環境や行動、対象の成長を促すための関りと学習支援を学ぶ。		
目標	1 教育の本質と、人間生成の目的について理解する。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト			
参考文献	講義後、資料配布 有川宏幸『発達が気になる乳・幼児のこころ育て、ことば育て-子どもを育む話 100選-』ジヤース 教育新社 必要に応じてビデオ教材の使用		
評価	出席率が全体の 50%であり、残りの 50%は終了試験の成績により評価する		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1	講義ガイダンス	人間生成論を学ぶねらい、展開についての概論	パワーポイントによる講義
2~4	対人関係の形成と 社会性の発達	対人関係形成のメカニズムについて学ぶ。また対人コミュニケーションから人間社会の特徴を理解する。	
5~7	学習レディネスと支援	教科学習におけるレディネスと、知覚の特性との関係を学ぶ。	
8~10	教育環境と養育環境	人間生成における、教育環境・養育環境の意義について学ぶ。	
11~12	社会と教育	対人支援の観点から、社会参加の意味と教育について学ぶ。	
13~14	人間行動のメカニズム	人間行動のメカニズムと特徴について学ぶ。	
15	終了試験		

科目名	人間関係論	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(15時間) 8回
科目の概要	人がもつ価値観や期待を理解し、尊重することやいずれの場面においても相手の思いを考え、関係を構築するためのコミュニケーション技術を学ぶ		
目標	共感的理解を中心にしてカウンセリングの基礎的技法を学び、その技法を応用した対人関係形成の方法を身につける		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト			
評価	筆記試験		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1	はじめに	1 授業に関するオリエンテーション	講義 演習
2	カウンセリングの定義	1 カウンセリングとは何かを説明する。	
3~4	カウンセリングにおける人間関係	1 カウンセリングにおける人間関係 について解説する。	
5~7	カウンセリングの技法	1 カウンセリングの基本的技法(受容、支持、繰り返し、明確化、質問)について解説するとともに、それを修得するための実習(ロールプレイング)を何度か行なう。 2 まとめ	
8	終了試験		

科目名	社会学	時期	1年次 後期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	看護の対象となる人間理解を深めるために、個人が所属する社会的側面、家族について学ぶ		
目標	現代社会、現代家族のダイナミックなあり方を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を实践する力 ☑ 3. 探求する力 □ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院		
評価	筆記試験		
授業計画			
回数	項目	内容	方法
1	社会とは何か	1. 現代社会を考える上でのさまざまなアプローチについて学ぶ。	講義
2	ラベリング論と意図せざる結果	1. 人々の相互行為についてラベリング論を通して考える	
3	社会関係資本とは	1. 人々の絆の問題を社会的に検討する。	
4	社会調査の技法	1. さまざまなデータを収集する方法と倫理について学ぶ。	
5	近代社会と近代化論	1. 近代化論を通して近代社会の特徴を考える。	
6	個人化社会とは何か	1. 個人化社会の特徴を理解する。	
7	ジェンダーについて	1. ジェンダーの概念とその意義を理解する。	
8	ジェンダーとケア役割	1. ケアについて考える。	
9~10	現代日本の家族	1. 家族の規模、結婚、離婚などの現状を学ぶ。 2. 出産と少子化、親子関係について把握する。	
11	現代家族の病理	1. 家族が現在かかえている病理現象とその現状を検討する。	
12	職場と家族の問題	1. ワーク・ライフバランスを中心に労働と暮らしの問題について考える。	
13	高齢化社会をめぐって	1. 高齢化社会の現状とそこでの家族のあり方を考える。	
14	地域社会、福祉と家族	1. 地域の保健、福祉、医療とそこでの家族のあり方を考える。	
15	終了試験		

科目名	地域と社会	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(15時間) 8回
科目の概要	地域で生活する多様な人々と地域社会での暮らしを学ぶ		
目 標	1 大きく変化している現代社会を理解する 2 地域住民の生活・暮らしについて理解する 3 健康な地域づくりについて理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	授業中にプリントを配布する		
参考文献			
評 価	平素の授業状況と定期的に提出を求めるレポート等の取り組み状況及び期末テストにより総合的に評価する		
授 業 計 画			
回数	項 目	内 容	方 法
1	ガイダンス・私たちの生活	私たちの生活の現状について探り、健康な地域づくりについて学習する。	教室による 講義
2	生活弱者の暮らしの理解	地域の高齢者、障害者、外国人などの生活弱者の生活について学習する。	
3	バリアフリーとユニバーサルデザイン	バリアフリー、ユニバーサルデザインの定義と考え方について学習する。	
4	日常生活の事故と安全対策	生活に潜む危険について学び、事故防止のための安全対策について学習する。	
5	情報化社会とコミュニケーション	情報化社会の進展の状況及び現代のコミュニケーションについて学習する。	
6	都市と病院施設	都市の仕組みについて学習し、地域インフラとしての病院施設の役割と機能について学ぶ。	
7	地球環境問題	私たちの生活と地球環境の関係について学習する。	
8	テスト	まとめ	

科目名	地域とふれあい学習	時期	1年次 前期
担当者	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員、非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(15時間) 8回
科目の概要	新潟県下越圏域における地域コミュニティの状況と、人々の暮らしを学ぶ		
目標	1 地域の特徴を理解する 2 地域で生活する人々の生活を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト			
参考文献			
評価	課題レポート等の取り組み状況などから総合的に評価する		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1	新潟県下越地域の歴史と文化	1地域の歴史と現在の課題 2この地域の医療の現状	講義
2~4	地域での生活を知る	1新発田市を知る ・市内探検 ・歴史と文化 2健康への支援と社会資源	グループワーク 市内巡り
5~7	地域で生活する人々の特徴	1新発田地域の歴史と特色 2意見交換会	講義 演習
8	発表会 まとめ		

科目名	心理学	時期	1年次 前期・後期
担当者	臨床心理士	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	人間に対する理解を深めるとともに、自己の客観的分析を学ぶ		
目標	人間の心理や行動の基礎にある原理を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	系統看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院		
参考文献			
評価	筆記試験		
授 業 計 画			
回数	項目	内 容	方 法
1～14	心理学とは 感覚と知覚 記憶 思考、言語、知能 学習 感情と動機づけ 性格とパーソナリティ 社会と集団 発達 臨床心理 医療・看護と心理学	心理学の研究対象、歴史、研究方法 感覚・知覚のしくみとはたらき 記憶のメカニズム、感覚記憶・短期記憶と作業記憶、 長期記憶と忘却 思考の定義・分類、問題解決、推論 言語の障害と検査 知能検査と知能障害 古典的条件づけ、オペラント条件づけと学習の理論、社会的学習と効果的 な学習方法 感情のメカニズム、動機づけの理論 性格の理論、性格の測定 社会的認知、態度と説得的コミュニケーション、対人関係と対人魅力、集 団とリーダーシップ 発達の段階と課題、発達の要因、発達の各段階の特徴 心の適応と不適応、心理療法 患者の心理、医療職者の心のケア	講義及び演 習
15	終了試験		

科目名	法学	時期	2年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(15時間) 8回
科目の概要	市民が法と関わる場面を概観しながら法学の基礎を学ぶ		
目標	社会における法の役割について理解を深める		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	レジュメの配布 『ポケット六法』有斐閣		
参考文献			
評価	筆記試験		
授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1	法の意義と機能	法とは何か、法の特質と機能について学ぶ	講義
2	日本における法の歴史と法意識	日本における法の歴史と法意識の変遷について学ぶ	
3	憲法について考える	最高法規としての憲法の存在意義を中心に憲法について学ぶ	
4	市民生活と法	市民生活と法との関係について、刑事手続を中心に検討する	
5	証拠とは何か	裁判の本質である証拠の意義および取扱いについて学ぶ	
6	市民の司法参加	市民の司法参加(裁判員裁判等)の本質的な意味について学ぶ	
7	まとめ		
8	終了試験		

科目名	英語	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1単位(30時間) 15回
科目の概要	看護活動に役立つ英語によるコミュニケーションを学ぶ		
目標	看護に関する英語表現を理解する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を实践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力		
使用テキスト	Vital Signs 【Revised Edition】 Vivian Morooka, Terri Sugiurac 著 南雲堂 Easy Nursing English (看単) Gerardine McCrohan, 芝田征二著 南山堂 プリント資料		
参考文献			
評価	筆記試験、口答試験、単語テスト、授業中の発表、出席などから総合的に評価する		
授 業 計 画			
回数	項目	内 容	方 法
1	【Pre Unit】	Introduction *Let's Learn One Another	講義及び演習 ペア、 および グループワ ーク等
2	【Unit 1】 Hospital Department	*病院の科に関する英単語の習得、会話の聞き取りおよび英問英答、	
3	【Unit 2】 Application Forms	*病院の受付および問診に関する英単語の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
4	【Unit 3】 Parts of the Body	*身体の各部分、内臓等に英単語の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
5	【Unit 4】 Illnesses	*病名に関する英単語の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
6	【Unit 5】 Daily Routines	*入院時の英語表現の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
7	【Unit 6】 Hospital Object	*病院内で使用するものに関する英語表現の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
8	【Unit 7】 Locations of Hospital Objects	*場所の情報を伝える時の英語表現の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
9	【Unit 8.】 Hospital Directions and Instructions	*病院内の道案内に関する英語表現の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
10	【Unit 9】 Directions(Outside the Hospital	*病院周辺の道案内に関する英語表現の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
11	【Unit 10】 Chatting with a Patient	*患者さんとの対話に関する英語表現の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
12	【Unit 11】 Taking a Medical History	*患者さんの病歴に関する英語表現の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
13	【Chapter 12】 Hospital Procedures 【Presentation】	*患者さんの処置に関する英語表現の習得、会話の聞き取りおよび英問英答 副教材の単語テスト	
14	口答試験	*今まで学んだことでプレゼンテーションをする。口頭試験の練習 *これまで学んだ英語表現を使ってダイアローグを作りペアで発表	

科目名	保健体育	時期	1年次 前期
担当者	非常勤講師	単位(時間) 回数	1 単位(15 時間) 8 回
科目の概要	心と身体を一体としてとらえ、運動の意義と安全で効果的な方法を学ぶ。		
目 標	1 健康の保持増進のための体力づくりと、仲間づくりのためのレクリエーションを理解する 2 生涯にわたって運動に親しむ方法を修得する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 豊かな人間力 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 看護を実践する力 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 探求する力 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 連携・協働する力		
使用テキスト			
参考文献			
評 価	平素の授業状況と課題提出		
授 業 計 画			
回数	項 目	内 容	方 法
1	健康な生活と運動の必要性	オリエンテーション 身体の機能と運動の関係性 運動の効果と安全な実施	講義
2~7	自己の運動機能を高める運動と社会性と協調性を必要とする運動	体育館および屋外での運動	実技
8	まとめ		